

誘引植物クレオメを利用した ハイマダラノメイガの発生と被害予測

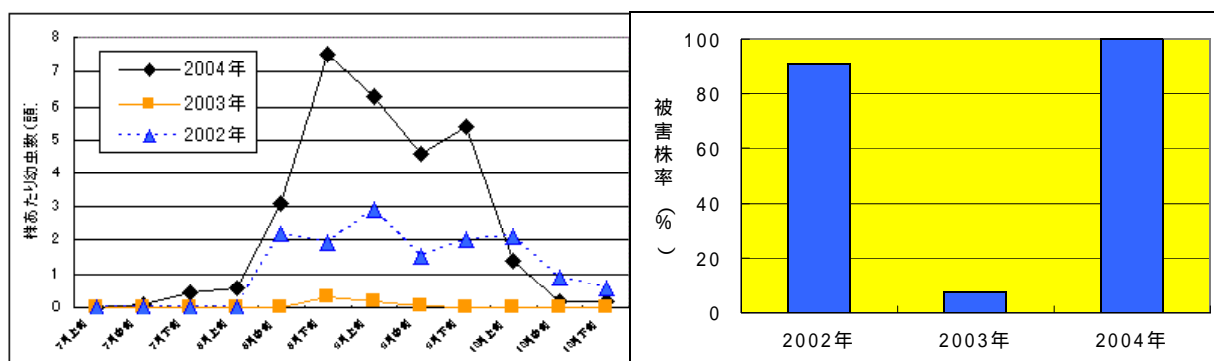
アブラナ科野菜害虫のハイマダラノメイガは、近年発生・被害が増加して、効率的な防除対策の確立が求められています。一年草のクレオメは、ハイマダラノメイガを誘引する植物として知られています。そこで、クレオメに生息するハイマダラノメイガ幼虫密度から本種の発生消長及びブロッコリーの被害程度との関係を検討し、8月中下旬のクレオメにおける本種幼虫の被害株率と生息密度から本種に対する薬剤防除回数の防除の目安を明らかにしました。



ハイマダラノメイガ成虫



幼虫によるクレオメの被害



クレオメでのハイマダラノメイガ幼虫推移 ハイマダラノメイガによる被害の年次変動 (ブロッコリー：無防除)



ブロッコリーの被害 (心止まり)

クレオメでの幼虫密度と防除回数、
ブロッコリーの被害株率の関係

8月下旬クレオメの 防除回数 被害株率

幼虫数(頭/株)	(8月下旬定植)	(%)
0.3	1	0
1.9	2	25.7
7.5	2	41.7
1.5	4	21.7